



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行者 齋藤庄司  
編集者 中堤聡司  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2010.4.10  
第1420号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを 皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

# 創意工夫して加入の呼び掛けを

## 地本新規採用者対策会議

地方本部は、3月13日に「新規採用者対策会議」を国労会館で開催、関係分會支部地区協代表地方本部役員ら35人が参加した。  
会議は重要課題の組織強化拡大の問題、2010年度の新規採用者の国労加入を目的に開催された。今年4月の東日本本社採用予定が1800人不採用問題が政治解決の方向にむかう好環境の中、浦和事件などで東労組と東日本本社が対立している今を好機と捉え、昨年の取り組みの職場状況、管理者や東労組の動向を報告、今年の分會の取り組みを議論し、各職場で創意工夫して取り組む、合わせて脱退した仲間や繋がりのある仲間への国労加入、復帰を積極的に呼び掛けることを意思統一した。

## 闘いの原動力は 組織の強化・拡大

会議は座長に齋藤委員長を選出、挨拶で「不採用問題は、与党3党と公明党の解決案が



職場の実態を出し合い意思統一を図った

がされるまで予断を許さない状況だ。春闘ではベア5000円の要求を提出。貨物会社は、11年連続ベアゼロ、夏季・年末手当大幅削減と厳しい状況で、定期昇給を先延ばしの考えを明らかにした。貨物の集会に参加を」と訴えた。

来賓の武田東日本本部組織部長は「東日本本部の組織拡大状況について一括和解以降75人、定期大会以降11人の国労加入。他労組の状況は浦和事件の吉田さんが1月にJRに復帰して仕事をされている。新規採用者対策、入社式宣伝行動を東京地本が中心で実施を予定している。新規採用者が未加入で現場配属できるようなになった。入社式で会社の対応に変化があり昨年はチラシやクリアファイルを手渡しした。クリアファイルを研修で使用する事象があった。新採対策の付き合わせ、拡大分會に学ぶために5・6月にプロ

### 当面の主な日程

- ▽4月17日(盛岡) 岩手県交連労協政策学習会及び学習会
- ▽4月20日(盛岡) 第8回執行・闘争委員会
- ▽4月22・23日(東京)

### 全国組織検討委員会

- ▽5月1日(各地区) 第81回ミーデー
- ▽4月24日(東京) 各地方本部業務部長会議
- ▽5月8日(盛岡) 支部・地区協・分會代表者会議

職場における差別是正、公正・公平な人事運用、労務政策の抜本的転換かつ正常な労使関係に向けた新たな闘いの出発点でもあり、その闘いの原動力は組織の強化・拡大である。すべての職場から組織的反転攻勢に立ち上がり、国労への加入を大胆に呼びかけ、展望を持ち取り組まなければならぬ」と現状認識と具体的な取り組みを提起した。

### 平和環境岩手県 労組センター

## 解決までもう二歩 最後までしっかりと

### 「JR不採用問題報告集会」

「JR不採用問題報告集会」が4月3日(土) 岩手労働福祉会館で、平和環境岩手県労働組合センターの主催で開催された。  
集会はJR不採用問題が新たな動きになり、一日も早い解決に向けた総決起の場として、平和環境岩手県労組センター加盟組合員約100人が参加した。  
集会は、センターの第20回臨時総会終了後開催され、主催者を代表して来内議長が「国鉄の分割・民営化は現在行なわれている首切り合理化の先駆けとなる、国家的な労働行動であった。国労は常に

### 役員欠員補充で臨時総会

◇平和環境岩手県労組センター◇  
平和環境岩手県労働組合センターの第20回臨時総会が4月3日、岩手労働福祉会館(盛岡市)で開催された。  
臨時総会は、小西寛副議長(高教組)、菊池知尋事務局長(岩教組)、青年部協議会代表の玉澤聡子幹事(岩教組)の辞職に伴う欠員補充のため開催され、新しく副議長に千葉伸武氏(高教組)、事務局事務局長 砂金 良昭(岩教組)に選出された。  
新三役体制は次の通り。  
議長 来内 広幸(自治労)  
副議長 中村 亨(全水道)  
事務局長 砂金 良昭(岩教組)  
幹事に佐藤浩氏(岩教組)を選出した。

### 参議院選挙・吉田忠智氏を推せん

### 花巻市議選挙は組織内の阿部一男氏

第22回参議院議員選挙が、7月11日(日) 投票日での施行が予想される。また、7月18日告示、同25日投票日で岩手県花巻市議会議員選挙も確定している。



吉田忠智氏



阿部一男氏

参議院選挙は、本部が昨年10月に自治労大分出身(元大分県職労委員長)で現在大分県議会議員の社会民主党公認の吉田忠智氏(53歳)の推薦を決定。地方本部も推薦決定している。花巻市議選挙には組織内候補の阿部一男氏が社会民主党公認で9度目の議席の確保に向け候補を予定し取り組んでいる。当面、吉田・阿部両予定候補の議席確保に各地区での取り組みに奮闘しよう。なお、10月には、4期連続の議席確保に立候補予定の齋藤憲雄氏の青森市議選挙も予定されている。



集会には、100人が参加し国労を激励

集会には、100人が参加し国労を激励  
集会は、1047名不採用問題に対してこのよう多くの参加者と貴重な時間をいただき感謝している。1981年の第2臨調から国労の闘いが始まった「ヤミ・カラ攻撃」などマスコミを総動員して国労を攻撃した・・・解決のあかつきには報告会を開催したい」と闘いを報告。連帯・激励の挨拶は、豊巻岩教組委員長と佐藤浩氏(岩教組)の挨拶もあつた。この見地からも一日も早い解決案が示される事を望む。この拙い文を皆さんが一読する際には関係者全員で問題の解決を喜び合いたいものだ」と心より思う(B)

### ていこう

今年も4月を迎えた。「分割・民営化」から24度目の4月1日だ。昨年末からの急速な解決への流れから行けば、不採用問題を解決して迎えるはずだった。しかし今日現在(4月5日) 政府からの解決案は示されていない。3月18日に与党3党と公明党が策定した解決案が政府に提出され、すぐにも政府案が示されるものと思っていたが、改めてこの問題の大きさを感ずるを得ない。不採用問題は当事者・組織・共闘と全体で歩調をあわせることが大変な時期が続いた。しかし関係者全員の「なんとしても解決を」という決意が4者4団体の枠組みを作り上げ闘いを押し上げてきた。結果「解決済みの問題」から「解決すべき問題」へと政府の対応も変わり、昨年の総選挙で誕生した連立政権が後押しし、長いトンネルの出口が見えた。政府案はまだ出されていないが、「雇用・年金・解決金」の要求に大筋で応える内容であることは3月18日の4党案からも予想される。ただ、どれ程の解決水準であろうと失われた23年間は帰ってはこない。帰ってはこないが当時の首相や運輸大臣が「一人も路頭に迷わせない」「組合所属による差別はない」とした国会答弁があつたにもかかわらず首を切られた現実。現内閣は過去の政府の過ちを認め、闘争団員と家族のこれからの生活を思いやる配慮が求められる。そして23年の闘争団員と家族の時の重みを考えれば人道的見地からも一日も早い解決案が示される事を望む。この拙い文を皆さんが一読する際には関係者全員で問題の解決を喜び合いたいものだ」と心より思う(B)



### 第66回青森支部 拡大委員会

# 新幹線青森延伸、選挙など 重要な1年、皆の力の結集を

青森支部は3月14日、第66回拡大委員会を8人の委員を含め30人の参加の中、青森労委会館で開催した。



力を集結し頑張っていくと訴える阿部青森支部委員長

のたの素案が出されたのを 受け、どのようにして解決に 向け運動を展開していくか。 また、今年の12月の東北新幹 線の八戸～新青森間の開業が 迫り、各級機関と連携をとり ながら、様々な 問題をどのよう に解決していく か。全国的に組 織の拡大が進み 線から面となっ ている現状のも と、国労加入・ 復帰をどのよう に勝ち取ってい くかなど、極め て重要な情勢の 中で会議とな った。

冒頭、阿部支 部委員長が、 「今年、新幹

線新青森駅開業、青森市議会 議員選挙、JR不採用問題も 最終局面に入り、支部にとつ て非常に重要な1年になりそ うだ。勝利するために、皆さ ん力を結集して頑張っていこ う」と力強い挨拶。続いて来 賓の奈良岡県議、斎藤青森市 議から激励の挨拶、佐々木地 本書記長からの情勢報告を受 け、佐々木支部書記長がこの 間の運動の総括と今後の運動 の方針が提案した。

討論では、6人の委員から、 「青い森鉄道の概要がつかめ ない、不安だ。一日も早く概 要がわかるようにしてもらい たい」「分会の半数の人が遠 距離通勤している。解消に向 けた会社側との交渉をお願い したい」「貨物会社は、昨年 までベアゼロが10年連続とな るが、来年度は、ついに定期

2006年11月のJR東 日本との一括和解から4回目、 2008年3月のJR貨物と の和解から3回目の入社式を 迎えた。この間、昨年度、一 昨年度と続けて新規採用者の 国労加入を勝ち取ってきた地

方本部もある。こうした運動 の全体化をめざし、3月7日、 東京都「交通ビル」で東日本 本部「各地方本部・地区本部 組織部長会議」が開催され青 年部も含め25人が出席した。 高野委員長の「定期大会以

降11名、19ヶ月連続の拡大。 流れを止めることなく、新採 対策の強化を」との挨拶の後、 武田組織部長が当面する取り 組みについて提起。 各地方からは「新採者の指 導者IIファザー・ブラザー制 度」がネットワーク。一方で、分会集 会を持ち、拡大に向けた意思 統一を図る取り組みも(盛岡 「基本的な分会活動に共 感して復帰の一方、個人のつ ながり共有化し全体での取 り組みとしていく中でも復 帰(八王子)」「組合説明会 を開催する中で国労への親近

感も生まれている(神奈 川)などが報告された。 当面、一括和解の趣旨を踏 まえた公平・公正な取り扱 いを求めて、本社・支社への申 し入れを行うと共に、各現場 長への要請を強めていくこと を確認。併せて、不当労働行 為に警鐘を鳴らすためのポス ター掲示の取り組みなどにつ いても確認した。

地方本部も、3月8日にJ R盛岡支社へ申し入れを行い、 3月13日には「新規採用者対 策会議」を開催する中で意思 統一を図ってきた。 相手を変えさせていくため にも私たち自身の粘り強い運 動が必要であり、諦めず、し たたかな現場の取り組みが今 まさに求められている。 青年の純真さと勇気を信じ、 国労の仲間を迎え入れるため、 全組合員が奮闘しよう!

昇給すらも見送るという提案 だ。この提案を撤回するため に、FAX行動、ハガキ行動、 署名行動の展開を各分会にお 願いする」などの発言があり、 佐々木支部書記長が、JR不 採用問題の早期解決を求める 闘いなど5点にわたって集約 した。

最後に委員会宣言を採択、 阿部委員長が「JR不採用問 題は最終局面に入った。予断 をゆるさない状況だが総団結 し、納得のいく早期解決を勝 ち取ろう」と決意を表明し、 団結頑張ろうで終了した。

4月25日に岩手県の宮古市 議会議員選挙(定数30)と宮 城県気仙沼市議会議員選挙 (定数30)が施行される。宮

古市議会議員選挙では、す でに岩手県教職員組合出身の北 村進氏を推薦決定。気仙沼市 議会議員選挙でも、推薦要請 のあった社民党公認で自治労 出身の村上進氏の推薦を3月 19日の執行委員会で確認した。 村上氏は、気仙沼水産高校、 仙台経理専門学校を卒業し唐 桑町役場へ入職、1991年

3月27日に国労盛岡支部 主催の「春闘交流会」が盛 岡労委会館で開催され、 25人の参加で職場報告を出 し合い交流を深め合いまし た。

各分会から、①東北貨物 協と協力して、全職場で集 会を開催し、本社へ抗議の フォックス行動を展開して いる。JR発足以来出向会 社に出されJRの制服を着 たことがない。合理化阻 止、若手を加入させよう (盛岡貨物分会) ②テレホ センターから3人の仲間 が職場復帰したが3年の出 向期限を1年延長され不満 が残る。59人の分会だが5 年後には3分の2になって しまう。組織拡大が急務で ある(盛岡運輸区分会) ③ 国労の主任が1人に増え た。現職死亡や体調を崩す 社員が多く勤務変更が多す る(北上駅連合分会) ④ 検修合理化で仕事の大半が 出向会社に移行しそうで不 安がある(盛岡運輸分会)

北村・村上両氏の 当選に組合員の協力を

北村進氏 (宮古)

村上進氏 (気仙沼)

25人の参加で職場実態交流 客貨体の運動を作ろう 「盛岡支部春闘交流会」

3月27日に国労盛岡支部 主催の「春闘交流会」が盛 岡労委会館で開催され、 25人の参加で職場報告を出 し合い交流を深め合いまし た。

⑤職場の統廃合の噂が飛び 交っている。一部他労組の 行動が、職場の空気を悪く している(釜石地域分会) ⑥新幹線青森延伸で職場の 合理化が心配、若手社員と も交流したいが、移動の周 期が早くて、なかなか深い 交流が出来ない(盛岡電気 分会) など職場実態の報告 がありました。

## 19ヶ月連続の拡大、流れ止めず 新規採用者の対策の強化も図る

### ◆東日本本部各地本・地区組織部長会議◆

で朝をむかえる場所が変わ ることなどから、財界が目 指した構造改革の中身、派 遣法規制の行方と過労死の 現場、名ばかり管理職の過

待していると、東海林さん は大学で国鉄の分割・民営 化について学び、その瞬間 を国労会館で迎えたそうで

えない取り組みについて情 勢報告されました。その後、 全体交流会・各地での春闘 行動・拡大行動の取り組み の報告が行われました。

貨物会社の態度には怒り を感じました。不採用問題 は私たちも悔しい気持ち の間で今でも悔しい気持ち でいっぱいです。ぜひこの 機を生かして政治解決して ほしいと思います。全国 から多くの青年部の皆さん が参加し、若い姿がとても 新鮮に感じました。家族会 も親組合とともに微力なが ら頑張らなくてはならない と、心新たにしました。

1892票獲得、27位当選 千葉悟郎氏(奥州市議選挙)

奥州市議会議員選挙(定数 34)が3月14日投票で実施さ れた。地方本部は、千葉悟郎 氏(社民党推薦、元岩手県高 等学校教職委員組合執行委員

長)を推薦し組合員に協力を 求めてきたところである。結 果、千葉氏は1892票獲得 し27位で当選、3度目の議席 を確保した。

## 家族会も頑張らなくてはと決意新た

### 地本家族会常任委員 中堤 久江

の講師で行なわれました。 内容はネットカフェの現場 から日雇い派遣などの実態、 多くの不当労働行為がある こと、仕事があるか無いか

酷と対立そして「人であり たい」との願いから労働組 合に対する期待が高まって いる。国労は地域と連帯し て強さを発揮してほしい期

続いて本部の田中副委員 長より今年春闘について、 JR貨物では定期昇給をし ない提案がされたこと、不 採用問題では24年目をむか

「2010春闘勝利! 青・婦・家中央総行動」が 3月12日(金)東京の全水 道会館で青年部・婦人部・ 家族会約100人の参加で 行なわれました。盛岡から は佐々木香代子地本家族会 会長、千葉裕子東日本家族 会中央常任委員、小野寺京 子婦人部長さんと地本常任 委員の私、中堤の4人が参 加してきました。当日は天 気もよく暖かい日和で一足 早い春を感じてきました。

最初に、主催者を代表し て加藤婦人部長が挨拶、現 在の国労の課題は組織拡大 であること、JR職場での

「客貨一 体」の運動を作り上げるた めにもこのような交流会を 開催することが大事だと思 います。

盛岡支部 米田勝

盛岡支部 米田勝



盛岡支部春闘交流会